

「杉並区多文化共生基本方針」の策定に向けた取組について

国は、外国人住民の増加・多国籍化や、多様性・包摂性のある社会の実現の動きなど、社会経済環境の変化に対応するため、令和2年に「地域における多文化共生推進プラン」を改定し、地方公共団体における多文化共生の推進を求めています。

区では、これまでも杉並区交流協会と連携して、外国人相談窓口の設置、子ども日本語教室の実施などの支援事業に取り組んできましたが、国の動きや区内在住外国人の増加等も踏まえ、今般改定した総合計画・実行計画において、多文化共生社会の実現に向けた取組を一層推進することとしました。

これを受け、区が多文化共生に関する基本的な考え方と取組の方向性を示す「杉並区多文化共生基本方針」（以下「基本方針」という。）の策定に向けて、以下のとおり取り組むこととします。

1 基本方針策定に向けた基本的な考え方

- 区民一人ひとりの人権尊重を基盤とし、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化を認め合い、互いに協力し合って豊かな地域社会にしていくことを目的として策定する。
- 策定に当たっては、当事者である区在住外国人や、地域住民・事業者、多文化共生に知見のある学識経験者等から幅広く意見を聴取し、基本方針への反映を図る。

2 基本方針策定に向けた取組

(1) 区民等への意見聴取

① 区民向けアンケート

無作為抽出による区民2,000名（外国人含む）へのアンケート実施

② 外国人向けアンケート

無作為抽出による外国籍の区民2,000名へのアンケート実施

③ 聴くオフ・ミーティング（区政を話し合う会）

- ・ 5月25日（土）午前10時～、午後2時～（計2回）
- ・ 在住外国人5名を含む計50名

④ 広報すぎなみ及び区ホームページによるアンケート

誰もが意見を出せる場としてのアンケート実施

⑤ 日本語教室の参加者等を対象としたヒアリング

(2) 「杉並区多文化共生推進懇談会」の設置

基本方針の策定に当たり、懇談会を設置し、学識経験者、町会関係者等、様々な立場から意見や助言をいただく。

【委員構成】

分類	役職	氏名
学識経験者	東京女子大学 教授	松尾 慎
多文化共生関係団体の代表者	杉並区地域日本語教育総括コーディネーター兼杉並区交流協会評議員	嶋田 和子
杉並区町会連合会の代表者	川端新興会	田内 クリセルダ
学校関係者	学校・地域コーディネーター	谷原 博子
外国人住民等	外国人サポートデスク相談員（ネパール語）	タンズカル シヴァ
	外国人サポートデスク相談員（中国語）	福智 文恵
杉並区	文化・スポーツ担当部長	寺井 茂樹

3 今後のスケジュール（予定）

令和6年	10月	基本方針（案）の策定
	12月	区民等の意見提出手続の実施
令和7年	1月	基本方針の決定